※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語アドバンストＡ	2	2	CROSSBEAM　総合問題集 Next Stage

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、難度の高い長文を読み、高度な内容（主に論説文）に対応できる総合的な読解力を養います。精読や速読など大学入試に対応できることを目標とします。
文法力は大学入試に対応している「英文法・語法問題」を扱います。こちらは「反転学習」として家での予習をしたうえで、授業では解答解説をおこないます。日々の家庭学習習慣をつけられるようにしてもらいます。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと

※令和４年度以降入学生用

学習到達目標	◇自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。 ◇はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。 ◇◆日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ◇ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。 ◇趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ◇ダンスや物の制作など一連の行動の手順について、ゆっくりはっきりと指示されればそのとおり行うことができる。 ◇決まった表現でゆっくりはっきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要なことがらについて、内容を理解することができる。 ◇ゆっくりはっきりと話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。	◇◆小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 ◇やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。 ◇300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。 ◇簡単なマニュアルや手引き書などを理解し、その内容に沿って行動（ゲームや工作など)することができる。 ◇有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ◇簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。 ◇◆50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをともない音読することができる。 ◇簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	◆病院や役所など公共の施設において、自分の要求することを正確に説明して、必要な手続きを滞りなく済ませることができる。 ◆◇身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。 ◆自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。 ◆◇簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。 ◆◇日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	◆◇論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。 ◆自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ◆絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	◆旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道立った文章をいくつかの段落で書くことができる。 ◇◆興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ◆身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ◆慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。 ◇◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ◇◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 ◆自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ◆簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習したことに基づいて「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」「リスニング力」「スピーキング力」「文章構成力」が身についているかどうかで評価します。 定期考査・小テスト等	学習したことに基づいて「読解問題」「文法演習問題」「作文」「リスニング問題」「英文法・語法問題」ができるかどうかで評価します。 定期考査・小テスト等	事前事後の学習に関わらず、指示されたことができているかどうか、指示されたこと以上に自ら考え行動に表しているかどうかで評価します。 提出課題・授業態度等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	CROSSBEAM Chapter1,2,3 Next Stage Part1 1,2,3 章	読むこと	a: 高校標準レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 課題提出 等
		聞くこと	a: 高校標準レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: リスニングをしようとしている	
		話すこと	a: 高校標準レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 自らの言葉で表現しようとしている	
		書くこと	a: 高校標準レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c:自らの言葉で表現しようとしている	
	中間考査			
	CROSSBEAM Chapter4,5,6 Next Stage Part1 4,5.6 章	読むこと	a: 高校標準レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 課題提出 等
		聞くこと	a: 高校標準レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: リスニングをしようとしている	
		話すこと	a: 高校標準レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 自らの言葉で表現しようとしている	
		書くこと	a: 高校標準レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c:自らの言葉で表現しようとしている	
	期末考査			
2	CROSSBEAM Chapter7,8,9 Next Stage Part1 7,8,9 章	読むこと	a: 高校標準レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 課題提出 等
		聞くこと	a: 高校標準レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: リスニングをしようとしている	
		話すこと	a: 高校標準レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 自らの言葉で表現しようとしている	
		書くこと	a: 高校標準レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c:自らの言葉で表現しようとしている	
	中間考査			
	CROSSBEAM Chapter10,11,12 Next Stage	読むこと	a: 高校標準レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 課題提出 等

※令和４年度以降入学生用

	Part1 10,11,12 章	聞くこと	a: 高校標準レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: リスニングをしようとしている	
		話すこと	a: 高校標準レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 自らの言葉で表現しようとしている	
		書くこと	a: 高校標準レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c:自らの言葉で表現しようとしている	
	期末考査			
3	CROSSBEAM Chapter13,14,15 Next Stage Part1 13,14,15 章	読むこと	a: 高校標準レベルの読解のための「語彙力」「文法力」「精読力」「速読力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 精読や速読をしようとしている	定期考査 小テスト 課題提出 等
		聞くこと	a: 高校標準レベルの聞き取りのための「語彙力」「文法力」「リスニング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: リスニングをしようとしている	
		話すこと	a: 高校標準レベルのスピーキングのための「語彙力」「文法力」「スピーキング力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c: 自らの言葉で表現しようとしている	
		書くこと	a: 高校標準レベルのライティングのための「語彙力」「文法力」「文章構成力」が身についている b: 内容を把握したうえでそれに関する問題を解くことができる c:自らの言葉で表現しようとしている	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度